

## ■農業集落排水事業特別会計 [上下水道課 所管]

### 1. 概要

農業集落排水事業は、生活排水及びし尿の処理を行い、農業用水の水質改善を図るとともに農村の環境改善を目的として行われている。つくばみらい市においては、平成2年度より上平柳地区に着手し、以降、弥柳山谷地区、福岡地区、十和地区、下小目地区、高岡狸穴地区、豊南部地区と順次整備を進めてきた。平成21年度に着手した三島地区において、平成26年度に一部供用開始し、市内全体で8処理区となっている。平成28年度までにつくばみらい市における農業集落排水事業計画区域の整備がすべて完了する見込みである。

### 2. 平成28年度歳入及び歳出

(歳入)

(単位:千円, %)

款	項	平成28年度	構成比	平成27年度	構成比	増減額	増減率
		433,785	100.0	466,996	100.0	△33,211	△7.1
分担金及び負担金	分担金	14,887	3.4	15,023	3.2	△136	△0.9
使用料及び手数料	使用料	53,593	12.4	52,263	11.2	1,330	2.5
	手数料	1	0.0	1	0.0	0	0.0
県支出金	県補助金	53,299	12.3	69,948	15.0	△16,649	△23.8
財産収入	財産運用収入	18	0.0	15	0.0	3	20.0
繰入金	他会計繰入金	224,924	51.9	223,209	47.8	1,715	0.8
	基金繰入金	20,041	4.6	12,416	2.7	7,625	61.4
繰越金	繰越金	10,000	2.3	10,000	2.1	0	0.0
諸収入	市預金利子	20	0.0	20	0.0	0	0.0
	雑入	2	0.0	1	0.0	1	100.0
市債	市債	57,000	13.1	84,100	18.0	△27,100	△32.2

(歳出)

(単位:千円, %)

款	項	平成28年度	構成比	平成27年度	構成比	増減額	増減率
		433,785	100.0	466,996	100.0	△33,211	△7.1
農業集落排水事業費	農業集落排水事業費	278,556	64.2	318,728	68.3	△40,172	△12.6
公債費	公債費	153,729	35.4	146,768	31.4	6,961	4.7
予備費	予備費	1,500	0.4	1,500	0.3	0	0.0

### 平成28年度の主な事業

▼農業集落排水整備事業 120,859千円 (145,413千円) ※( )は前年度当初予算額

[国庫支出金:53,299千円 地方債:57,000 その他:7,429 一般財源:3,131]

※負担金:受益者分担金 7,411 減債基金利子 18

(目的及び期待する効果)

三島地区の整備において、Ⅱ期地区(福原)の管渠布設工事を行う。平成28年度で事業完了見込みである。

(主な支出)

委託料	管渠実施設計	5,300千円
工事請負費	管渠工事	97,800千円

積立金 減債基金積立金（利子を含む） 15,317 千円

▼農業集落排水処理施設管理事業 79,515 千円 （80,982 千円）

〔その他：52,903 一般財源：26,612〕

※使用料：農業集落排水使用料 52,900 行政財産使用料 3

（目的及び期待する効果）

区域から集まった汚水を浄化処理し、処理水を農業用排水路等に放流する基幹的な施設である各処理場の適正な運転及び維持管理を行うものである。

処理場施設管理事業として、主要な処理機器であるポンプや計測器等の修繕，更新を行い、安定した処理水準を保つ。

（主な支出）

光熱水費	電気料，水道料	26,517 千円
修繕費	上平柳処理場	
	空気流量計交換	318 千円
	弥柳・山谷処理場	
	濾過器用流量計交換	688 千円
	濾過器濾過材交換	1,077 千円
	高岡狸穴処理場	
	自動細目スクリーン交換	702 千円
	豊南部処理場	
	回分槽 6 打点記録計交換	756 千円
	福岡処理場	
	沈殿槽掻寄機減速機交換	1,026 千円
	十和处理場	
	調整ポンプ交換	691 千円
	下小目処理場	
	真空ポンプ修繕	3,877 千円
委託料	運転管理	33,719 千円
	汚泥処分	5,346 千円
	電気設備点検	862 千円



高岡狸穴処理場



豊南部処理場



上平柳処理場



弥柳山谷処理場



三島処理場



福岡処理場



下小目処理場



十和处理場

▼**農業集落排水管渠施設管理事業** 39,557千円 (32,154千円)

[一般財源：39,557]

(目的及び期待する効果)

汚水管渠やマンホールなど適切に管理し、管渠の閉塞等を未然に防止する。また、低地内の管内にある汚水を自然流下できる高地までポンプ圧送するマンホールポンプの管理を行う。

管渠施設管理事業として、窓口での対応をスムーズに行えるように、下小目地区の管路台帳を整備する。また、マンホールを設置している道路段差を解消するため補修工事を実施する。

(主な支出)

光熱水費	電気料	7,584千円
通信運搬費	電話料	980千円
委託料	管渠清掃	3,136千円
	下水道排水管台帳作成	12,960千円
工事請負費	マンホールポンプ制御盤移設工事	3,240千円

▼**使用料・受益者負担金事務事業** 5,794千円 (5,447千円)

[その他：222 一般財源：5,572]

※負担金：受益者分担金 221 手数料：分担金督促手数料 1

(目的及び期待する効果)

下水道使用料及び受益者分担金の賦課徴収業務を行う。使用料について水道使用料金と併せて徴収業務を行うことにより収納率の向上、事務の効率化を図る。

(主な支出)

委託料	下水道使用料収納事務負担金	2,472千円
公課費	消費税納付金	3,000千円

▼**放射能対策事業** 10,746千円 (11,497千円)

[一般財源：10,746]

(目的及び期待する効果)

放射線量の測定を実施し、乾燥汚泥処理を行う判断をするとともに、住民への情報提供を行う。

(主な支出)

手数料	汚泥測定	297千円
委託料	汚泥引抜	10,449千円